

報道関係各位

三菱地所株式会社
一般社団法人千代田区医師会
東京駅・有楽町駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会
(通称：東京駅周辺防災隣組)

**～大手町・丸の内・有楽町地区における公民連携による災害時対応訓練～
千代田区医師会、東京駅周辺防災隣組と連携した
「災害時医療連携訓練」・「帰宅困難者支援・ボランティアセンター立上げ訓練」開催**

三菱地所株式会社は、一般社団法人千代田区医師会並びに東京駅周辺防災隣組と連携し、3月7日（金）に大手町・丸の内・有楽町地区における公民連携による災害時対応訓練として、「災害時医療連携訓練」並びに「帰宅困難者支援・ボランティアセンター立上げ訓練」を開催しましたので、お知らせします。



三菱地所グループ救護活動班と防災隣組による負傷者搬送



医師によるトリアージ

三菱地所と千代田区医師会、東京駅周辺防災隣組の3者は、大規模災害時における大手町・丸の内・有楽町地区の医療対応強化を目的に、災害時における医療活動や仮救護所設置等の情報発信に関し2013年9月に基本協定を締結しておりますが、今回の「災害時医療連携訓練」は、同医師会の医師・看護師約30名をはじめとして総勢約70名が参加する、基本協定締結後初の訓練となりました。

当日は、講師役の医師から参加者に対し災害時医療活動についてのレクチャーを開催した上で、災害時に多数の負傷者が発生したことを想定し、仮救護所への負傷者搬送からトリアージ、応急処置等、災害時医療活動における一連の流れを実践で確認しました。

また、三菱地所と東京駅周辺防災隣組は、同日に開催される千代田区によるシェイクアウト訓練と連動する形で、「帰宅困難者支援・ボランティアセンター立上げ訓練」を開催。三菱地所は2012年8月に千代田区との間で「大規模災害における被災者受け入れに関する協定」を締結しておりますが、今回、震災発生を想定し、千代田区との通信訓練及びビル内に設営した受け入れスペースにおける帰宅困難者支援訓練を実施しました。

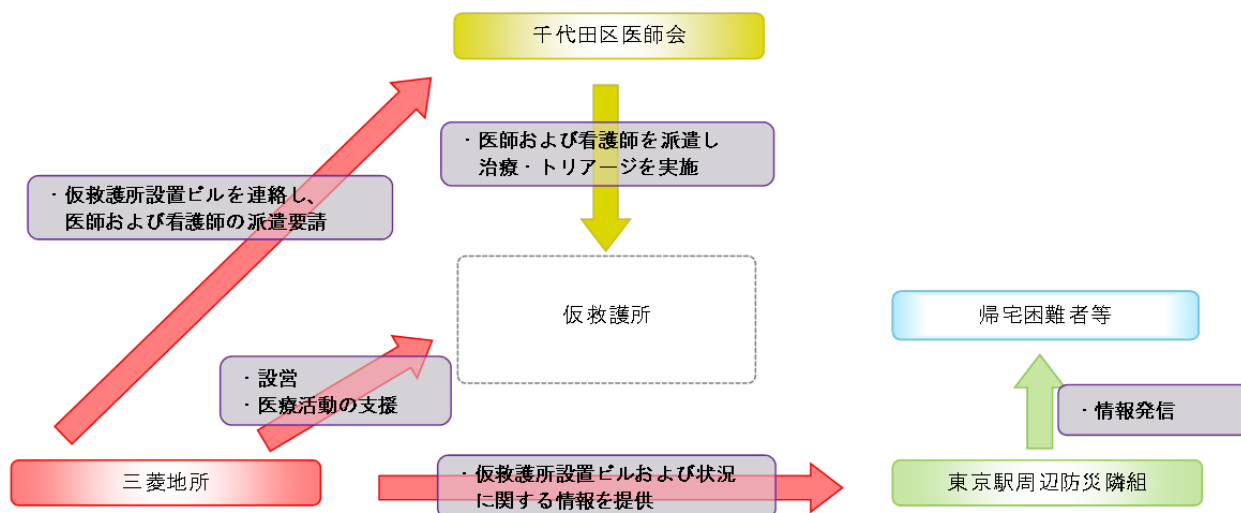
また、東京駅周辺防災隣組では、同訓練に並行して、災害時のボランティア受け入れを行う「防災隣組ボランティアセンター」立上げ訓練を実施。会員企業従業員の中から災害時に現地で活動していただく事前登録ボランティアと、災害発生時に現場にてボランティアの申し出を頂いた当日登録ボランティアが連携して、災害発生時の初動訓練や応急手当、災害情報の交信訓練を実施しました。

約4,200社を超える企業集積と約23万人の就業者が働く大手町・丸の内・有楽町地区は、日本最大のビジネスセンターとして、災害時においても速やかな復旧・事業継続が求められていると同時に、広域からの来街者で平日・休日とも常に賑わう交通結節点として、多様な人々の安全確保に貢献する役割を期待されているエリアです。三菱地所では、千代田区、千代田区医師会、東京駅周辺防災隣組などと連携、公民連携による災害時対応力を強化し、災害に強い、安全・安心な街づくりを地域とともに進めています。

<災害時医療連携訓練内容>

三菱地所・千代田区医師会・東京駅周辺防災隣組による災害時協力体制

《イメージ図》



① 医師による医師・看護師向けトリアージレクチャー

- ・大規模災害時の仮救護所におけるトリアージ、災害時医療について東京通信病院の野口医師・宮沢医師より、参加した千代田区医師会加盟の医師・看護師に対して災害医療の心構えやトリアージ法などについて説明。



トリアージレクチャー

② 負傷者搬送班・トリアージ班による実践訓練

- ・三菱地所グループ救護活動班と東京駅周辺防災隣組が協力して負傷者を搬送、千代田区医師会の医師・看護師がトリアージを実施。



三菱地所グループ救護活動班による負傷者搬送



千代田区医師会によるトリアージ

③ 医療救護班による医療資機材等の確認

- ・千代田区医師会の医師・看護師による医療資機材とその使用方法の確認。



医療資機材等の確認

<帰宅困難者支援訓練・防災隣組ボランティアセンター立上げ訓練内容>

④ 帰宅困難者受け入れスペース設営

- ・千代田区の要請に応じ、東京ビル1階に帰宅困難者受け入れスペースを設置。



帰宅困難者受け入れスペース設営

⑤ 帰宅困難者受け入れ

- ・帰宅困難者役を受け入れスペースに誘導、水・食料・毛布などを配給。

⑥ ボランティアセンター開設

- ・東京駅周辺防災隣組とボランティアリーダーとなる当地区内のビル警備会社の社員が「防災隣組ボランティアセンター」を開設。
- ・事前登録ボランティア並びに当日登録ボランティアの名簿を作成。名簿の届け出による千代田区社会福祉協議会への「ボランティア保険」付保の準備をする。



「ボランティア」集結

赤ゼッケン：ボランティアリーダー

緑ゼッケン：事前登録ボランティア

青ゼッケン：現場有志による当日登録ボランティア

⑦ 地元放送局「防災レポーター」訓練

- ・事前登録ボランティアの中で、事前に定められた「防災レポーター」が東京駅周辺の状況取材し、地元放送局に情報伝達する。放送局において編成後、放送する。



情報班による情報収集・発信

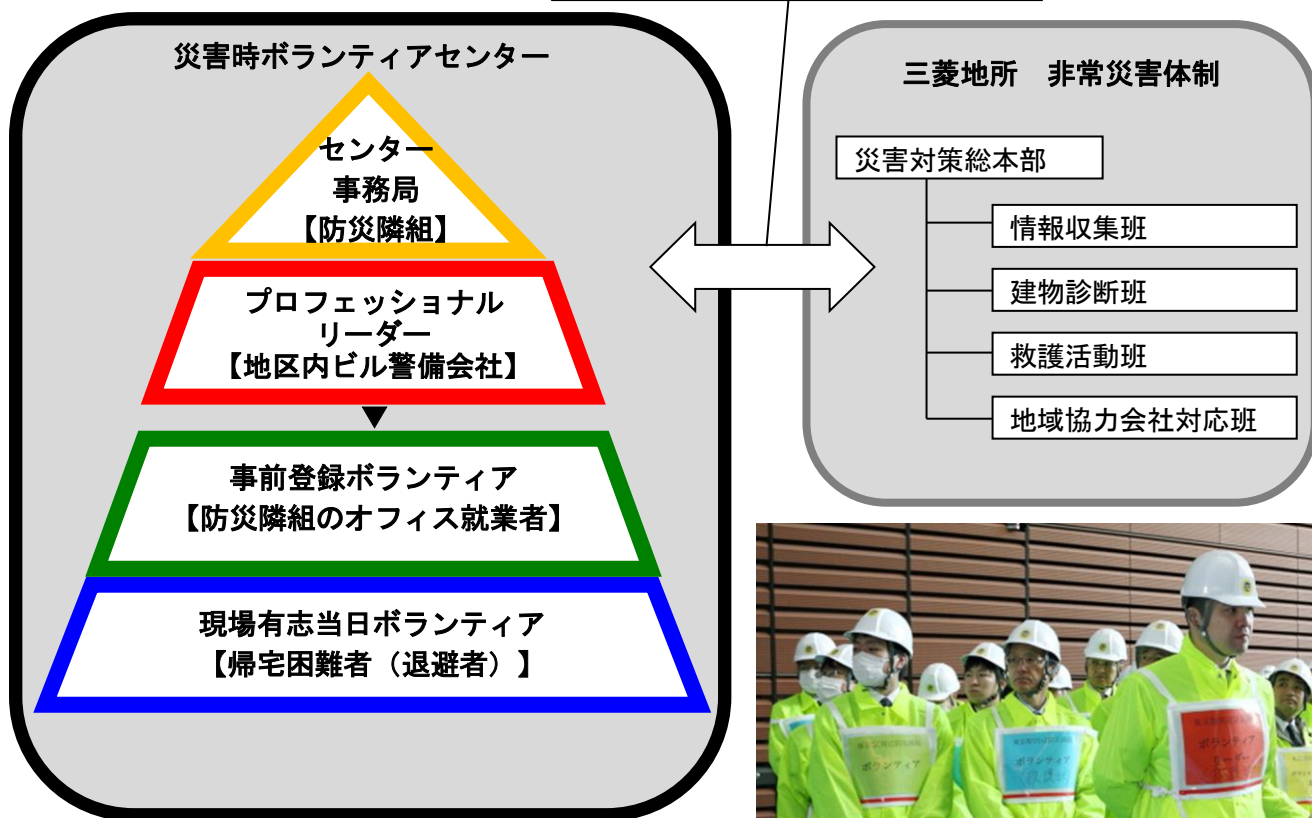
⑧ 応急手当訓練

- ・三菱地所が設営する仮救護所において傷病者の手当を実施する。
- ・東京駅周辺防災隣組本部員の指導により、心肺蘇生・止血等の実践訓練を行う。
- ・東京駅周辺防災隣組では定例会議等でAED操作等の訓練を実施している。(年間随時)



AED訓練

三菱地所 非常災害体制と
災害時ボランティアセンターの連携



左から、事前登録ボランティア(緑)、現場有志による
当日登録ボランティア(青)、ボランティアリーダー(赤)

■「東京駅周辺防災隣組ボランティアセンター」の仕組み

【特徴】

- ◎震度6弱以上で丸の内ビル7階「(一財)都市防災研究所」内に「東京駅周辺防災隣組ボランティアセンター」が自動的に開設される。
- ◎地区内に加盟している警備会社の資格者が駆けつけ、ボランティアのリーダーシップをとる。
- ◎平時から防災隣組にボランティア協力の登録をしているオフィス就業者が、可能な限りセンターに駆けつける。
- ◎この地区で帰宅困難に遭遇した避難者の中で、支援作業へ協力を希望する有志にもボランティア活動に参加願う。
(ボランティアには東京都福祉協議会の「ボランティア保険」に加入してもらう)

【チーム編成】

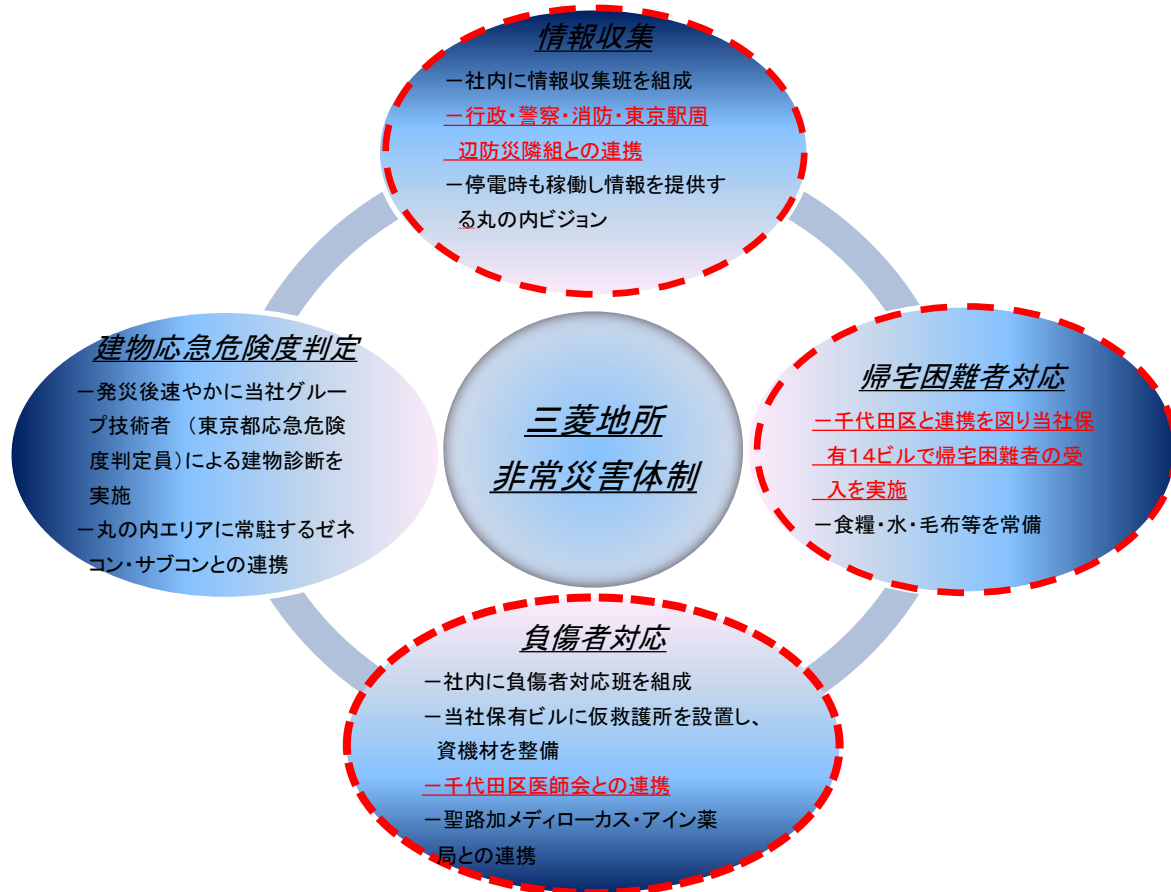
- 《事務局》 東京駅周辺防災隣組のスタッフ
- 《受付班》 事前登録ボランティア、更に現場で応募する当日登録ボランティアの参加受付、名簿作成、保険付保等を行う。
- 《情報班》 地域の災害情報を収集し、ホワイトボードに取りまとめ、情報発信する。
- 《救護班》 千代田区医師会とも連携して、応急救護を行う。
- 《防災レポーター班》 地区内の放送局がこの地区の被災状況をレポートし、地区内の放送局に発信する。

(参考)

■三菱地所の非常災害体制

三菱地所は、大規模災害発生時またはその虞がある場合に、「非常災害体制」を発令し、全社員が災害対策要員として初動対応に続き、速やかな①情報収集(安否・被害状況)・情報発信、②建物安全確認、③負傷者対応、④帰宅困難者対応などを行います。

また、東日本大震災以降、大規模災害発生時にも速やかな復旧・事業継続が行えるよう地域連携を強化し、三菱地所グループ各社の災害時体制との総力で協働し、災害に強い安全・安心な街づくりを進めています。



■東日本大震災以降の取組み

①情報収集・情報発信

東日本大震災時に速やかな情報提供を行った丸の内ビジョン(大丸有地区に約90台設置)のモニターに、非常用電源の供給を可能とする設備改修を行うとともに、災害発生時には千代田区本部と連携して行動する東京駅周辺防災隣組との連携を強化。

②建物安全確認

三菱地所設計をはじめとしたグループの技術者により実施していた建物診断を、ゼネコン各社、設備工事各社にも協力頂き、災害時の迅速な建物診断・復旧プラン立案ができる協力体制を構築。

③負傷者対応

一般社団法人千代田区医師会及び東京駅周辺防災隣組と、災害発生時に三菱地所が設置する仮救護所への医師および看護師の派遣や、仮救護所設置等についての情報発信を行う等、災害時医療連携に係る基本協定を締結。また、聖路加国際メディカルセンター、アインファーマシーズとも基本協定を締結し、医療備蓄・災害時医療体制を構築。

④帰宅困難者対応

大規模災害時、都心部において発生が予想される帰宅困難者に積極的に対応するため、千代田区との間で「大規模災害時における被災者受け入れに関する協定」を締結。丸の内ビル、新丸の内ビルをはじめとした千代田区内14棟の三菱地所保有ビルを千代田区が認定する「被災者一時受入施設」と定め、被災者の受け入れと支援を行う体制を構築。

また、ハード面においては、2016年竣工予定の大手町連鎖型都市再生プロジェクト第3次事業においては、電力と水（上下水道）の自立型システムを構築するとともに、免震構造の宿泊施設を整備することで、災害時に災害救護等に携わる活動要員の滞在を受入れます。また、敷地内に温泉を掘削することで、災害時に、災害活動要員や企業の業務継続に携わる従業員の方々等に温浴施設を開放する計画としており、地域の防災拠点機能を有する「防災拠点機能ビル」とします。

(関連リリース)

20111108 「丸の内エリアの災害対策」発行

<http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec111108.pdf>

20120827 千代田区と被災者受入れ協定締結

<http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec120827.pdf>

20120828 ゼネコン・設備会社と建物診断・復旧協力協定締結

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec120828_1.pdf

20130906 千代田区医師会・東京駅周辺防災隣組と大規模災害時の医療連携協定締結

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec130906_ishikai.pdf

20131128 三菱地所、聖路加国際メディカルセンター、アインファーマシーズが災害対策に係る

基本協定書を締結～民間初の「医療備蓄・災害時医療体制」を構築～

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/20131128_iryounenkei3.pdf

20131128 大手町フィナンシャルシティ 災害用医療備蓄を開始

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/20131128_iryoubichiku5.pdf

20110901 三菱地所総合防災訓練 情報伝達訓練や帰宅困難者対応訓練他

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec_110901.pdf

20120903 三菱地所総合防災訓練 地震被災度判定システムと建物応急危険度判定他

<http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec120903.pdf>

20130902 三菱地所総合防災訓練 医療機関と連携した応急救護訓練他

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec130902_bousaikunren.pdf

20130315 「大手町連鎖型都市再生プロジェクト第3次事業」始動

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec130315_ootemachi3.pdf